

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(07 京都市吉田) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	挨拶の励行	自分から挨拶することも増えてきたが、職員から声をかけて挨拶することも多い。継続的な指導が必要である。
		うゑぶさくらを用いての出欠の確認	こどもの出欠の確認の為、こどもたちに登館したらタブレットを持つ職員に「帰ってきました」と伝えるよう指導している。半数以上のこどもが習慣付いているが、職員から声をかけないと伝えに来ないこどももいる。こどもの予定や様子の把握、職員間の共有に努めた。保護者には利用予定の入力を毎月25日までにしてもらうよう伝えているが、されていない家庭もある。また、職員側でも打刻のミスをなくす、予定変更の共有を徹底する。
		手洗い、うがいの励行	登館時・外あそび後・食事やおやつ前後の手洗い、アルコール消毒を習慣付けることに努めた。ハンカチを忘れるこどもが多いので、指導を継続する必要がある。うがいの指導は行えていなかった。
	健康の管理・情緒の安定	個人の持ち物の管理や整理整頓	自分の持ち物をランドセルやロッカーに片付けるよう指導を行っているが整理整頓が十分にできていない。落とし物・忘れ物は多く、今後も継続的に声掛けをする必要がある。
		遊具の使い方や片付けの指導	遊具の使い方について指導をすることで、使ったものを片付けてから違うあそびをするということが習慣付いてきた。外あそび前など、自分で時計を見て片付けを始めることができることもあるが、机が出しっぱなしの時もある為、徹底が必要である。
		安全指導	保護者と帰宅方法について確認し、こどもたちにも指導して、安全確保に努めることができた。今後も継続して、保護者と情報を共有し連携していく。
	基本的生活習慣の確立	おやつ提供	栄養バランスを考へつつ、アレルギー対応が必要なこどもには、個別で保護者と連携して進めることができた。今後も、一段と職員間でのアレルギーダブルチェックを徹底していく。今年度から班でのおやつを再開させ、こどもたちに班活動を意識つけた。おやつでの配膳当番を週間単位で班で担当してもらい、また、毎日のおやつ後の片付けを班のメンバーで相談しながら進めてもらった。おやつでの班活動を行うことで、和気あいあいとお喋りしながらおやつを楽しむ様子、上級生から下級生への声掛けやフォローがあったりと、縦のつながりも広がった。
		帰りの会	人数確認、伝達事項を伝える他、時間がある時になぞなぞや簡単なゲームをするといったことを取り入れ、集団帰りのこどもには安全に下館できるよう指導した。また、区民夏まつりや児童館フェスでの手話うたやけん玉の発表に向けての練習にも取り組んだ。
		避難訓練	定期的に火災や地震を想定し、避難経路の確認をした。8月には消防署との総合訓練も行った。訓練を重ね、スムーズに避難できるようにになったが、慣れも生じているので緊張感をもって取り組めるようにしていく。
	社会生活技術の獲得	お弁当いらないデー	保護者が作る負担と、こどもがお弁当を持って来る負担を軽減することができた。メニューはパン以外にもお弁当屋さんを取り入れるなどマンネリ化しないよう努めているが、今後も検討が必要である。
		集団下館指導	4月に新1年生を対象に、職員が集団下館に付き添い、下館ルートや下館中に気を付けること等を確認できた。
		防犯交通安全教室に参加	川端警察署から、防犯・交通安全について指導してもらい、自分自身の身の安全に対する意識を深める機会とした。
		集団下館（冬時間による早帰りの実施）	11月～1月中旬まで、少しでも帰館時の安全を図るために、今年度からは全方向のこどもを対象に冬季の下館時間の変更を行った。
		大掃除	年末に協力して児童館全体をきれいに掃除し、新たな気持ちで新年を迎える準備ができた。
子ども育成機能	生活体験の拡大	当番活動・班活動	今年度からおやつをクラス別に部屋を分かれ、班ごとでとるようにした。それに伴い、おやつ当番を復活させるなど、当番活動・班活動も再開させた。
		お誕生会	3年生以上のこどもたちに各月2人ずつ司会進行を行ってもらった。毎月実施し、誕生月のこどもを皆で祝った。保護者と職員からのメッセージが入った色紙をプレゼントした。また、今年度からはおやつの特典メニューを設定し、一人ひとりに自分の好きなおやつの味を選んでもらい提供した。こどもたちには好評であったが、メニューのマンネリ化を防ぐために新しく開拓していく必要がある。
		館外活動	5月に「左京東山児童館学童保育所まつり」、3月に「3年生記念イベント」でラウンドワン河原町店に出かけることで、公共マナーを学んだり様々な体験をすることができた。コロナ明けで外国人の旅行者も多く、人通りの多い道を歩く際には他の人の迷惑にならないように配慮することを事前に指導していた。
	社会性の養成	館外活動に向けての取組	参加者を対象に、事前に行く場所・スケジュール・持ち物の確認を行い、館外活動への意識を高めることができた。
		3年生会議	3年生で集まり、上級生としての意識を高めるとともに、3年生のみで行う記念イベントについて考えた。
		入会式	新入生の保護者や上級生と共に、新入生の入会をお祝いする。上級生の有志のこどもからの手話うたやけん玉の発表もしてもらった。
	自立の促進と自主性の尊重	新入生歓迎会	学童クラブ全体で新入生を歓迎する。上級生の司会のもと、新入生の自己紹介と、上級生による入会のプレゼント渡しを行った。また、有志のこどもたちが準備したゲームでみんなあそびを行った。
		吉田区民夏まつりに向けての取組	学童クラブも希望制で参加し、発表（手話うた・けん玉「もしかめ」）した。夏休み前から練習とリハーサルを重ねていき、本番に向けて一丸となって取り組んだ。本番後も手話うた・けん玉の熱は衰えず、自主的に練習する子もいた。
		児童館フェスに向けての取組	オープニングに手話うた・けん玉の発表に向けて、帰りの会で練習とリハーサルを重ねた。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	じどうかんフェス2024	オープニングに手話うた・けん玉の発表を行い、午前中の司会や午後からのゲームコーナーのお手伝いを希望者のこどもたちが行った。また、有志の保護者の方にもお手伝いをしていただいた。
		思い出作りのイベント	3年生会議で内容を相談し、ラウンドワン河原町店でボウリングを楽しんだ。
		修了式	今年度からは学童クラブを巣立つこどもに修了証書を渡し、職員からお祝いのメッセージを送ったり、有志のこどもたちから手話うたを披露したりした。
	子育ての仲間づくり	小学校との懇談	クラス担任と児童の様子について情報を交換・共有し、日々の保育に活かすことができた。
		個人懇談	生活習慣や家庭・学童クラブでの様子等、情報を共有することができた。新入生の全保護者と継続世帯の保護者（希望制）が対象。参加しやすいように、午前中だけでなく、午後や土曜日も時間帯を設けた。
		たこあげ大会	児童館事業と合同で鴨川にて行った。午前中に製作をし、午後に鴨川でたこあげを行った。保護者の方にも有志でお手伝いをしていただいた。
	子育てを支えるネットワーク形成	吉田区民夏まつりへの参加	例年、学区社協や地域各種団体と連携して、地域行事へ参加し、住民と交流しながら児童館PR・保護者同士の交流などネットワークを広げる良い機会となっており、学童クラブもアトラクションの参加で「手話うた」「けん玉（もしかめ）」の発表を行っている。また、児童館からはゲームコーナーも展開した。
		たこあげ大会	職員主導で行い、保護者の方には有志で参加していただいた。
		登録説明会	来年度学童クラブに登録する予定の保護者に、児童館と学童クラブの内容や登録申請の手順、提出書類の説明を行った。また、併せてICTの操作説明会も行った。
	子育ての仲間づくり	入会説明会	来年度学童クラブに入会する予定の保護者に、児童館と学童クラブの内容や提出書類の説明を行うとともに、ICTの操作説明会も行った。
		おたよりの発行	『学童っ子だより（月の予定）』と『どろんこ（こどもの様子）』を毎月1回発行した。ペーパーレス化で、各家庭には「さくらdays」での配信とした。こどもの様子が共有できるような、わかりやすい紙面を今後も考えたい。
		保護者懇談会	例年、年4回実施し、こどもたちの様子を伝えている。また、保護者同士・保護者と職員が交流を持つことを目的に行っている。今年度は、夏季休暇中の7月に全家庭の保護者を対象に開催し、連絡事項や、こどもの様子などを伝えた。

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(07 京都市吉田) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 生活支援機能															
お弁当いらないデー	4回	66	73	36	31	19	4							229	長期休暇や給食がない日などに保護者がお弁当を作る負担を軽減するために、保護者会より補助を受けてお弁当を用意する。7・8・1・3月に実施した。
集団下館指導	1回	15	18	11	9	3	0							56	児童館から下館する際の注意点などを確認し、同じ方向に帰るこどもの顔合わせを行った。
防犯交通安全教室	2回	32	38	18	22	7	1	0	0	0	0	4		122	川端警察署から、防犯・交通安全について指導してもらい、自身の身近な安全に対する意識を深める機会とした。
避難訓練	11回	150	144	60	69	37	6	2	0	0				468	地震や火事の際の避難経路を確認するために訓練を行う。8月は、左京消防署の方に来ていただき指導していただいた。また、1月は防犯訓練を避難訓練と合わせて行った。
大掃除	1回	14	15	6	8	3	0							46	年末に、児童館を班ごとに分かれて綺麗に掃除する。
(2) 子ども育成機能															
クラス発表	1回	15	17	9	5	4	1							51	年度初めに、1年間のクラスを発表する。
班発表	1回	15	17	9	5	4	1							51	季節ごとに新しい班を編成し、発表した。今年度から班活動はおやつ当番として行った。
入会式	1回	15	21	11	9	6	1							63	新入生の保護者や上級生と共に、新入生の入会をお祝いをした。
新入生歓迎会	1回	18	20	10	11	5	1							65	学童クラブ全体で新入生を歓迎する。上級生の司会のもと、新入生の自己紹介と、上級生による入会のプレゼント渡しを行った。また、有志のこどもたちが準備したゲームでみんなあそびを行った。
お誕生会	12回	178	180	75	97	48	9							587	3年生以上の子どもたちに各月2人ずつ司会進行を行ってもらった。毎月実施し、誕生月の子どもを皆で祝った。保護者と職員からのメッセージが入った色紙をプレゼントした。また、今年度からはおやつの特典メニューを設定し、一人ひとりに自分の好きなおやつの味を選んでもらい提供した。こどもたちには好評であったが、メニューのマンネリ化を防ぐために新しく開拓していく必要がある。
館外活動に向けての取組	0回														館外活動の前に、当日の流れや参加メンバーを確認する。
左京・東山児童館学童保育所まつり2024	1回	1	3	1	0	1	0	3	3	0	0	0	1	13	宝ヶ池公園子どもの楽園で行われている左京・東山児童館学童保育所まつりに参加する。当日学童利用する人と自由来館6名を引率する。出発前に注意事項を伝える。
3年生会議	6回			40										40	3年生で集まり、上級生としての意識を高めるとともに、3年生のみで行う記念行事について考える。
じどうかんフェス2024	1回	0	2	1	0	1	0	47	11	5	0	0	89	156	オープニングに手話うた・けん玉の発表を行い、午前中の司会や午後からのゲームコーナーのお手伝いを希望者のこどもたちが行った。また、有志の保護者の方にもお手伝いをしていただく。
3年生記念イベント「ボウリング」	1回			9										9	3年生会議で内容を相談し、ラウンドワン河原町店でボウリングを楽しんだ。
新入生歓迎会実行委員会	3回	0	0	4	14	6	0	0	0	0	0	0	0	24	新年度に新入生に渡すプレゼントとしてプラ板に絵を描く。
修了式	1回	14	16	8	6	3	1	0	0	0	0	0	0	48	今年度からは学童クラブを巣立つこどもに修了証書を渡し、職員からお祝いのメッセージを送ったり、有志のこどもたちから手話うたを披露したりした。
(3) 子育て支援機能															
保護者懇談会	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	全家庭を対象に、夏季休暇前の7月に開催し、連絡事項や、子どもの様子などを伝える。
個人懇談	20回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	21	1年生の保護者・新入会の保護者全員と継続世帯の保護者（希望制）を対象に、子どもに関する情報交換を行う。
吉田区民夏まつり	1回	0	2	1	1	0	38	14	1	0	0			57	アトラクションで学童クラブの子どもたちの手話うた・けん玉の披露をした。

たこあげ大会	1回	1	2	1	0	1	0	19	7	0	0		18	49	児童館事業と合同で鴨川にて行った。午前中に凧を作り、午後に鴨川で凧あげを行った。
登録説明会	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	来年度学童クラブに登録する予定の保護者に、児童館と学童クラブの内容や登録申請の手順、提出書類の説明を行った。
入会説明会	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	来年度学童クラブに登録する予定の保護者に、児童館と学童クラブの内容や提出書類の説明を行った。後半ではICTの操作説明会も併せて行った。

*注 1

行事名は、（１）生活援助機能 （２）子ども育成機能 （３）子育て支援機能に分類して記入すること

*注 2

2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること